

現認證明書

一 所屬部隊

二三陸軍航空隊 (武平一五三二部隊)

一本籍地

一 官等級氏名

陸軍軍曹

一 死七日時

昭和十九年七月十六日

一 死七區分

戦死 (腹部砲弾破片創)

一 死七場所

比島ルン島ブランチイ木

一 留學地等者

現認ス

元二三陸軍航空隊 (武平一五三二部隊)

陸軍軍曹

戦死現認書

陸軍上等兵

右者昭和十九年七月二十一日比島中部ル之島マヤ才山  
中ニ於テ頭部負傷銃創ニテ戦死セシコト現認候也

昭和二十一年十二月六日

現認者 陸軍八曹

現認(事實)證明書

本居住地 [redacted]  
所属部隊 固有名称 [redacted] 通称名 [redacted]

位 位 年 月 日 氏名 [redacted]  
官 年 月 日 氏名 [redacted]

- 一、死亡年月日時分 昭和十七年七月二十一日 20時分
- 二、死亡原因及傷名 野无陸舟乗用銃傷
- 三、死亡場所 [redacted]
- 四、死亡状況 [redacted]
- 五、遺骨及遺品の有無 [redacted]
- 六、死亡に関する書類の有無 不明

右の通り相違ない事を証明する

昭和十七年四月八日 元所属部隊(固有名称) [redacted]  
(通称名) [redacted]

現住所 [redacted]  
参戦官 [redacted]

- 一、死亡者本籍地 [redacted]
- 二、住所證明書の住所欄名称 [redacted]

右の通り相違ないことを証明する

昭和 年 月 日  
昭和十七年四月八日 参 郡 市 長

[redacted]

現認證明書

比島

赤達第

部隊

隊

第百二飛行場大隊

陸軍少尉



右者昭和十九年七月三日ハシノ海浜ニ於テ

海没(雷轟)依リ戦死(戦死)ニシテ現認ス

昭和十九年七月三日

現認者

第百二飛行場大隊

隊陸軍少尉

現住所



氏名

13-12



現認証明書

本籍地

[Redacted]

現住所 右二丁目

所属

[Redacted]

正野丸部隊

役種 現役

階級 陸軍一等兵

[Redacted]

一 死亡年月日

昭和九年七月三十一日

二 死亡場所

大太平洋 海峽

三 死亡原因

輸送中 葛藤 殺死

14-12

一 序名

戰 死

一 死之状況

敵潜水艦魚雷、魚機由部々イナク

右、現認ス

現住中

之所為部隊

中予軍和三航空軍司令部隊

階級

陸軍 兵長

9-11

寫

※	保長	主任	死者	現任	守者	兵籍	整理	番號	四號
死亡現認證明書	所屬部隊	本籍地	死者姓名	現任	守者姓名	兵籍	整理	番號	四號
調製	固中部九八部隊	飛	戦死	本籍地に同じ	氏名	19. 7. 31	昭和十九年七月三十一日	昭和十九年七月三十一日	昭和十九年七月三十一日
不	通稱	官死	傷病名	傷病名	氏名	19. 7. 31	昭和十九年七月三十一日	昭和十九年七月三十一日	昭和十九年七月三十一日
不明	不	死	爆死	爆死	氏名	19. 7. 31	昭和十九年七月三十一日	昭和十九年七月三十一日	昭和十九年七月三十一日
			死亡場所	死亡場所	氏名	19. 7. 31	昭和十九年七月三十一日	昭和十九年七月三十一日	昭和十九年七月三十一日
			死亡時間	死亡時間	氏名	19. 7. 31	昭和十九年七月三十一日	昭和十九年七月三十一日	昭和十九年七月三十一日
			死亡原因	死亡原因	氏名	19. 7. 31	昭和十九年七月三十一日	昭和十九年七月三十一日	昭和十九年七月三十一日
			死亡場所	死亡場所	氏名	19. 7. 31	昭和十九年七月三十一日	昭和十九年七月三十一日	昭和十九年七月三十一日
			死亡時間	死亡時間	氏名	19. 7. 31	昭和十九年七月三十一日	昭和十九年七月三十一日	昭和十九年七月三十一日
			死亡原因	死亡原因	氏名	19. 7. 31	昭和十九年七月三十一日	昭和十九年七月三十一日	昭和十九年七月三十一日

昭和十九年七月三十一日午前四時四十五分暴撃丸がバシールに命中し、機體は進行中激落し、燃焼し、約四分にて沈没せる際、機長は救助せられ、機體は翌朝午前八時頃迄遭難現場を捜索せしめ、死者は沈没せり。

9-11

入隊 19.7.10 現役として中隊入八師團 19.6.10 大阪商船乗取

二等兵 19.7.10 商船乗取出航

復 19.3.10 一等兵

後 19.6.30 許可出港

遺骨状況 上世 陸後関係係属へ 市(報告)の有無

現 往 所 [Redacted]

認 所 派 遣 隊 ジヤワ派遣軍第十六教育飛行隊

着 死者との関係 戦 友 階級 伍 氏名 [Redacted]

見※所

調製の上

一 ※印の箇所は當部にて記入す  
二 復歴欄には入隊より死亡に至る迄詳細に記入の事と  
三 戦死當時の状況は持込の帳詳細に記入の事と  
四 一部調製とす 鉛筆書き不可  
五 本書送り先は [Redacted] 教育係 部 第一世話課認係とす



生野島時  
直洋93700個環行才入解面  
司令部神光電

上陸後状況

00三五一威(画)

軍空航四第(画)  
司令部

31 7 19 時

海一シバ

認 照 火 戦

八分後此接

四十分

シ

長 伍

五 月 日 主

事

名

名

名

名

名

名

名

名

名

名

名

名

隊部属所

時日月年

所 場

行 區

事 由

亡

得 種 兵 禮

前 亡 死

后 亡 死

名

名

本

留 守 担 當 者

現 住 所

名

名

名

戦時死亡者現認證明書

石現認ス

所 属 部 隊

住 所

第 四 航 空 隊 司令部

官 等 初 代 名

上 陸 地 名

比 島 野 マニラ

計 画 部

上 陸 月 日

九 月

名

名

名

名

名

名

名

名

- 綱製上ノ注意
- 一 所属部隊編制圖有部隊名ヲモ判明推定記入ス
  - 二 死亡欄ニ生業停止限リ詳細ヲ付シ事由ニ係リ名月日上陸地ヲ記シ於ニ連絡済ナクハ其他参考資料共併テ記入シテ記述多ク場合ニ向テ添付記入ノコトヲ留意ス
  - 三 遺骨有無(欄)「有無」有ル場合「何処ニアリヤ」(現地上陸地支荷留行宅等記入ノコト)
  - 四 認印ヲ忘レヌ
  - 五 同一人ニ對シニ部調製ノコト

22-11

# 死亡現認證明書

本籍地

所屬部隊(固有名)

徵集年 十七年

現役 役種 飛行

兵種

(通稱號)

官等級 死亡前 上等兵

氏一名

生年月日

年

月

日生

留守擔當者

本籍地 同

親柄 父 氏名

死

年月日時及區分 昭和十九年七月三十一日午前四時五十分 戰死

亡

場所 八三ー海 磯

傷(病)名

年月日時

4-12



傷(病)名	戦死(病死)の状況	受傷(罹病)の状況	内地港灣出發 戦地到着年月日	勤務の概要
	<p>昭和十九年七月十三日 前線部隊に敵機襲撃を受け、約十分で現命を絶つた。 足部骨折、第一番下子機に居残り、船上で命を絶つた。</p>		<p>昭和十九年七月十三日 門司港</p>	

右の通り現認したことを證明す

昭和十九年 月 日

本籍地

所屬部隊 第三七〇航空隊

官等級

職名 佐長 氏名

4-13

# 現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日

地方世話部

西都年九十九部隊

通稱

所属部隊

第三航空教育隊

現役

兵

飛艇兵

官

前

死亡

後

死亡

氏名

生年月日

年 月 日

年 月 日

日生

死亡年月日時

昭和 年 月 日

午前 午後

時 分

死亡場所

傷病名

准士官以上

任官年月日

死亡區分

發(受)病(傷)年月日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

死亡時

の状況

昭和十九年七月三十一日早朝、大坂商船所屬半客船「扶桑丸」三輪送送途中、午前四時五分頃潜水艦ヨリ遭撃、乗員攻撃を受け、同船ハ約二分後沈没、(於此)遺留品の有無不明

右證明候也

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

現任

陸軍伍長

殿

10-12



# 現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日  
地方世話部

所屬部隊 陸軍航空教育隊

通稱

西部隊九十九部隊

現役 飛行兵 陸軍 一等兵

氏名 生年月日

死亡年月日時 昭和 年 月 日 午後 時 分

死亡場所

死亡區分

傷病名

發(受)病(傷)年月日 昭和 年 月 日

准士官以上  
任官年月日

死亡時 昭和十七年七月三日(ハシ)海軍三空六隊高射隊所属 扶桑丸  
三子輪邊途上先南四時五分頃潜水艦より魚雷攻撃ヲ受テ  
同船ハ約一分後沈没セリ  
右者ハ沈没時甲板に在リテ幸ハ確實な着陸後沈没ハ  
全ク不明ナリ

遺留品 遺世  
の有無

右證明候也

昭和 年 月 日

所屬部隊 第一五三五八部隊  
現任所 官等職氏名印

陸軍部長

殿

11-12

# 戰時死亡現認證明書

區分記

事

本籍地

所屬部隊(固有名)

第一五三飛行場大隊

役種 徵集年

官等級 氏名

補正後 昭和九年徵集  
死亡前ノ官等級 陸軍上等兵  
死亡後ノ官等級

留守擔當者住所 氏名

妻

死年月日及區分

昭和十九年七月三十一日 三時四十二分(傷病)死、余務死、死海没

場所

バニール海峡

亡傷(病)名

内地港灣出發  
戰地到着年月日  
昭和十九年七月十三日 門司出港

勤務ノ概要

輸送中

受傷年月日時

場所

(病)名

現認者所屬

昭和二十一年十二月三十一日 名古屋 上陸隊員者

官氏名印

威九九二六 部隊  
陸軍伍長

初令...

元陸軍上等兵

右... 第一五五飛行隊... 命を失はせられたる...



復員調査

昭和十九年七月... 海軍航空隊... 命を失はせられたる...

約十時同余海上に漂ひし海防艦... 救助せられたる...

手達... 航空隊... 命を失はせられたる...



6-13

後狀況急ガマニ任地ニ向ヒ音信不通トナリマシタ此度ハ生帰還致シ  
家族ヲ訪シ彼ノ安否ヲ聞キタルニ未カク生死不明ニテ家庭ノ運行上大ニ  
支障ヲ来シ居ル事ヲ知リマシタ生モ恐懼ニ堪ハズ前記ノマヨヲ語シコレヲ  
ル属家族モスベテラマキタメテカノ如ク英雷五ノ帰ヲ待テテ家庭ノ  
整理ヲ致シタストノ事ヲシテカラ出来得レハ一日モ早クハム報ヲ出シテ  
載リタイ次第デス家族ニ於テモ右ノ報ヲ待テ居ル狀歎々シタ  
右ハ書面ニテ御函ケ致シマス

昭和二十二年二月十五日

元陸軍伍長

6-14